兼松株式会社

城崎温泉での空飛ぶクルマの社会実装に向けた取組について

2026年10月27日

© 2026 Kanematsu Corp.

兼松株式会社

空飛ぶクルマ関連事業を進める上での前提



ミッション

空飛ぶクルマを通じ、地域の魅力・機能を高め、
より人々が訪れたい、住みたい、働きたい地域を作り、
日本の成長に貢献する

ビジョン

地域課題と次世代エアモビリティをつなぎ、
地域と空の未来を共創する

© 2026 Kanematsu Corp.

1. はじめに

兼松株式会社

- 離着陸場(バーティポート)の開発・運営を軸に空飛ぶクルマ事業を将来の航空事業の柱に
- 世界で業界をけん引する英Skyports社と資本業務提携



© 2026 Kanematsu Corp.

2. なぜ城崎温泉での空飛ぶクルマ社会実装に取組むのか？

兼松株式会社

要素	理由
地域特性	➢ 国際的な評価が高まる「高付加価値」なデスティネーション(ウリ・ヤド・ヒト・コネ) ➢ 大都市圏・近隣観光地からの物理的/時間的距離(遠くないのに、遠い) ➢ 山と海に囲まれたチャレンジングな地理条件 ➢ 但馬域内での移動、日本海側での東西移動などの課題
エコシステム	➢ 共存共栄の精神から成る一体感と推進力 ➢ 先進性を備えたデスティネーションマネジメント ➢ 整備・駐機拠点となりえるコウノトリ但馬空港の存在 ➢ 日本一のドクターヘリ稼働地域（公共需要と社会受容性の存在） ➢ コウノトリとめぐる空飛ぶクルマ社会実装推進協議会
行政施策	➢ 戦略産業クラスターとして「空飛ぶクルマ」が位置づけられている近畿エリア ➢ 豊岡市による様々な支援、豊富な官民連携実績・先進技術の導入環境
機会	➢ 城崎温泉の次世代まちづくり構想（北但大震災復興100年記念プロジェクト） ➢ １００年前の航空ネットワークの復活機運（日本海航空） ➢ 神戸空港の本格国際化 ➢ 兼松創業の地、兵庫県における地域貢献のチャンス

納得感のある空飛ぶクルマ導入のストーリーが存在

© 2026 Kanematsu Corp.

兼松株式会社

2023-25年度の主な実施内容

城崎温泉周辺のバーティポート候補地調査

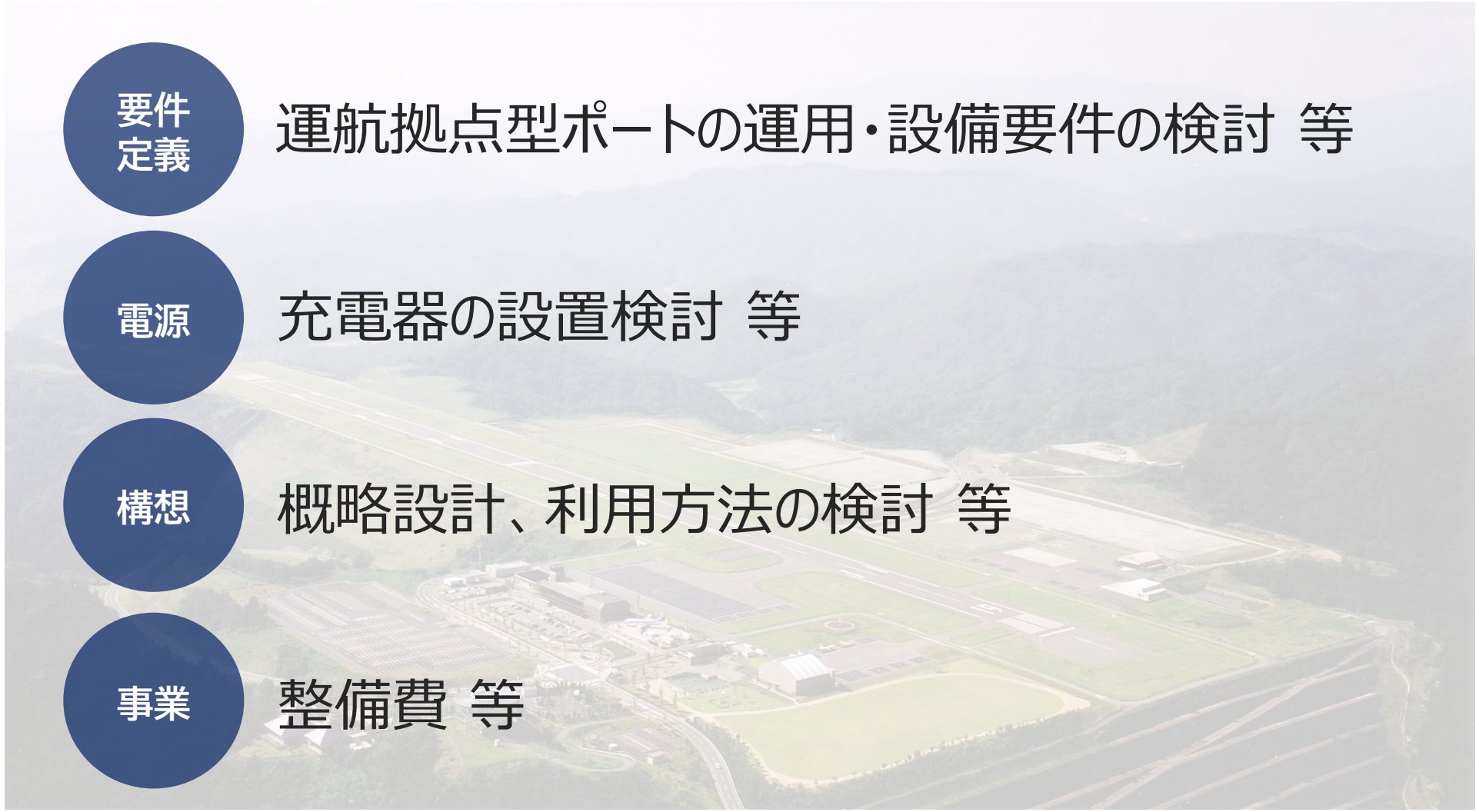
構想計画	レイアウト検討、地盤調査、制限表面検討 等
電源	充電器への電源接続、系統からの引込検討 等
環境	行政協議、鳥類、騒音、景観等への影響調査 等
事業	整備費、需要、想定路線、就航率の調査 等
合意形成	ビジョン案策定、関係者説明会開催、シンポジウム開催 等

© 2026 Kanematsu Corp.

兼松株式会社

2025年度の主な実施内容

但馬空港の拠点化構想検討



要件定義	運航拠点型ポートの運用・設備要件の検討 等
電源	充電器の設置検討 等
構想	概略設計、利用方法の検討 等
事業	整備費 等

© 2026 Kanematsu Corp.

4. 2026年度 空飛ぶクルマ事業化準備事業 採択内容

兼松株式会社

コウノトリとめぐる空飛ぶクルマ社会実装プロジェクトの実現に向けた準備事業
城崎温泉バーティポート（仮称）の基本設計

■実施体制

<代表事業者(申請者)>

- 兼松株式会社

<共同事業者>

- 東京海上日動火災保険株式会社

<協力事業者>

- Skyports株式会社
- 日本工営株式会社
- 一般社団法人城崎温泉観光協会
- 城崎温泉旅館協同組合
- 株式会社湯のまち城崎
- 全但バス株式会社
- 一般社団法人豊岡観光イノベーション
- 一般社団法人 京都府北部地域連携都市圏振興社（通称 海の京都DMO）
- 株式会社大丸松坂屋百貨店 大丸神戸店
- 株式会社SkyDrive
- 丸紅エアロスペース株式会社
- 中日本航空株式会社
- 学校法人ヒラタ学園
- 川崎重工業株式会社
- Beta Technologies Inc.
- 関西電力株式会社

ポート、運航・メーカー、観光、地域等の事業者からなる体制

■事業実施場所

兵庫県豊岡市城崎温泉周辺

■目的

- 城崎温泉近郊における離着陸場建設に向けた準備を進める
- 空飛ぶクルマ受入れに向けた地域のステークホルダーとの合意形成の準備を進める

■今年度事業概要

① バーティポートの基本設計（前半）の実施
② 国立公園における開発許可申請に必要な調査の実施
③ ステークホルダーとの合意形成に向けたフィールドワーク

■目標

- 過去の調査を踏まえバーティポートの基本設計を進める為の諸条件、制約を整理
- 行政との事前協議が完了し、設計図書の作成準備が整う
- 自然公園法に基づいた国立公園における開発許可申請に必要な調査を実施
- ステークホルダー（地域・運航事業者）との合意形成

© 2026 Kanematsu Corp.

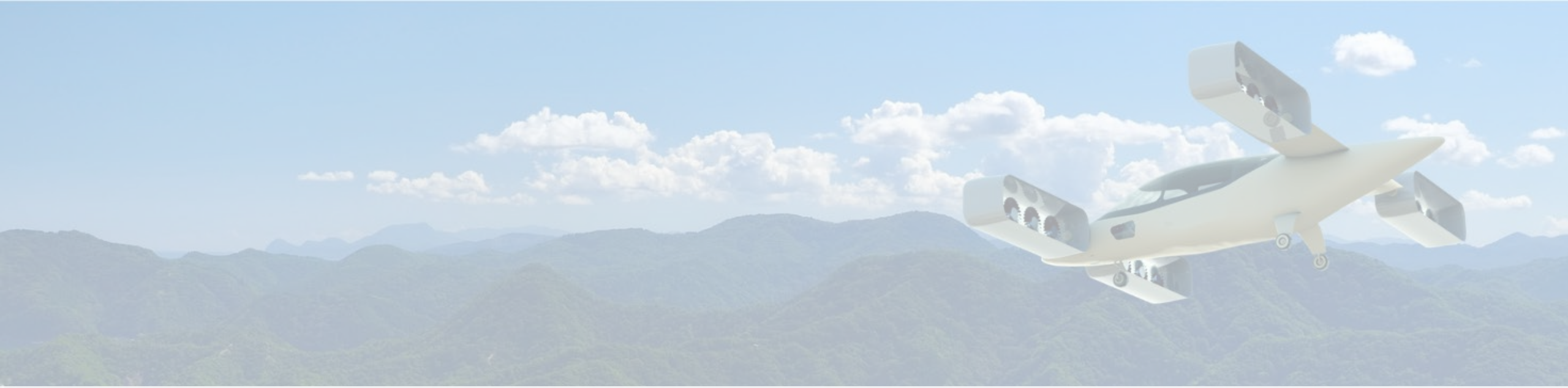
5. 2026年度 空飛ぶクルマ事業化準備事業 採択内容

兼松株式会社

今年度の空飛ぶクルマ事業化準備事業として実施している内容

	実施項目	目標	取組内容
①	バーティポートの基本設計（前半）	バーティポートの設計を進めるための諸条件、制約を整理	設計与件整理　各種条件・制約の整理(土木、建築、設備、周辺環境、空域 等)
		行政との事前協議が完了し、設計図書の作成準備が整う	測量、空域設計(制限表面、経路)、ポートレイアウト設計 行政との事前協議（法令、規制、設計方針)
②	国立公園における開発許可申請に必要な環境調査の実施 (昨年度から継続)	自然公園法に基づいた国立公園における開発許可申請に必要な調査を実施	鳥類、騒音、景観に関する調査
			バードストライク対策
③	ステークホルダーとの合意形成に向けたフィールドワーク (昨年度から継続)	ステークホルダー（地域・運航事業者）との合意形成	地域のステークホルダー・行政関係者への定期的な情報共有・意見聴取 地域の金融機関と連携した需要/認知・興味度の調査
			運航事業者の誘致活動及び利用にあたっての諸条件の議論 IFR実施における課題整理

© 2026 Kanematsu Corp.



目指すは2030年までの離着陸場整備・商用運航開始



© 2026 Kanematsu Corp.